

書籍情報

始まりは千恵さんのブログでした。その言葉は多くの人をあたたく包み込み、2012年に「はなちゃんのみそ汁」が発売され一躍話題に。それから、絵本やレシピ本が相次いで発売され、今もなお人々に元気を与え続けています。ご家族・ご友人、大切な人と一緒にお楽しみください。



原作本

「はなちゃんのみそ汁」  
[文春文庫]  
著者:安武信吾・千恵・はな  
¥626(税込)



絵本

【絵本 はなちゃんのみそ汁】  
(家の光協会)  
著者:安武信吾・千恵・はな  
文・絵:魚戸おさむ  
¥1,296(税込)



最新エッセイ&レシピ本

「はなちゃん12歳の台所」  
(家の光協会)  
著者:安武はな  
レシピ監修:タカコナカムラ  
¥1,296(税込)



レシピ&ブログ本

「娘・はなへ——  
ママが遺したいのちのレシピ」  
(角川書店)  
著者:安武千恵・はな  
¥1,512(税込)

わたしたちをつなぐ、  
おいしくてあったかい記憶



前売鑑賞券ムビチケ

ムビチケカード一部劇場にて好評発売中です。該当劇場の窓口でも買い求めの方に、先着限定で【オリジナル万能手ぬぐい】(非売品)をプレゼントしています。※弁当箱を包んだり、ティッシュ箱カバーにしたりと万能なてぬぐいです。ぜひお買い求めください。

ムビチケカード  
¥1,400(税込)

※取巻劇場は、映画公式サイト(hanamiso.com)にてご確認ください

主題歌

主題歌「満点星」は、一青窈さんがこの映画のために書き下ろしたオリジナル最新曲。母としてまっすぐにはなちゃんに愛を注いだ千恵さんと、それを一心にサポートする安武さんと、その愛に応えるはなちゃんと、気持ちをいつも素直に伝える家族のあり方が素敵だと感じタイトルを決めたそう。劇中の歌唱シーンでも登場し、映画全編を優しい楽曲が包みこみます。

主題歌:一青窈「満点星」  
(ユニバーサルミュージック/EMI Records)  
12/16(水)配信リリース!!

★一青窈オフィシャルサイト <http://www.hitotoyo.jp/>  
★UNIVERSAL MUSIC 一青窈HP <http://www.universal-music.co.jp/hitotoyo/>

はなちゃんのみそ汁

広末涼子 滝藤賢一

一青窈 紺野まひる 原田真知子 香風ひとみ 遠河はるひ 赤松えみ(子役)  
平泉 成 木村理恵 北見敏之 高畑淳子  
鶴見辰吾 赤井英和 / 古谷一行

原作:安武信吾・千恵・はな「はなちゃんのみそ汁」(文藝春秋)  
監督・脚本:阿久根知昭

主題歌:一青窈「満点星」(ユニバーサルミュージック/EMI Records)

企画:村岡克彦 プロデューサー:坂本和隆/堀尾聖矢/高原啓子 撮影:寺田健郎(USC) 照明:鈴木康介 録音:木田茂 美術:丸尾知行 監督補:横山浩之  
特別協賛:住友生命保険相互会社 協賛:クリナップ株式会社 フンドーケン醤油株式会社  
製作:「はなちゃんのみそ汁」フィルムパートナーズ(イメージフォード/東京テアトル/監理法人寿堂本間興産/株式会社神谷伸利/中央映画興業/オセロ・エンタテインメント/西日本新聞社/海井孝子)  
制作プロダクション:イメージフォード 配給:宣伝:東京テアトル(東京テアトル70周年記念作品)  
2015年/日本/デジタル/119分/ワイドスクリーン/5.1ch ©2015「はなちゃんのみそ汁」フィルムパートナーズ  
hanamiso.com 文部科学省選定(成人向き、家庭向き) 青少年映画審議会推薦

がんでこの世を去った千恵、33歳。5歳の娘と夫、愛する人へ伝えたい、いのちのメッセージ。  
あなたは子どもに何をのこせますか?

12/19(土)  
先行公開  
テアトル新宿&福岡県内  
1/9(土)  
全国拡大公開



12.19(土) テアトル新宿&福岡県内 先行公開 | 2016.1.9(土) 全国拡大公開

# 食べることは生きること。前向きに生きる姿に、あたたかい涙が溢れ出す!

## 安武信吾 (原作者/西日本新聞 編集委員)

自宅のバルコニーで、千恵役の広末涼子さんが、生まれてきてくれた娘に感謝する場面があります。「あがん死んだほうがマシって思うとった抗がん剤治療、はなのことは考えるだけで平気になるとやけん」。以前、はなが「ママはどうして私を産んだのかなあ。もし、私を産まなかったら、今も生きていたかもしれないね」と、僕に言ったことがあります。試写会場で、はなは涙ぐんでいました。広末さんの言葉を聞き「生まれてきてよかった」と感じたことでしょう。わが家に限らず、生まれてきてくれた子どもに感謝しない親はいません。この世に生を受けたことを肯定できる人になってほしい。それは、亡き妻千恵の願いでもあります。

### わたしのみそ汁

好きなみそ汁の具は、エノキと厚揚げ。出汁は、昆布とかつお節が基本です。厚揚げの代わりに油揚げでも良い。出汁をきかせて、みそは少なめに入れるので、揚げ物の油のことで、全体の味のバランスが整う。ちなみに、娘のはなが作るみそ汁の具は、いつも豆腐とワカメ。「ママが好きなみそ汁だから」が理由です。

## 服部幸應 (服部栄養専門学校 校長)

乳癌を患い死を宣告された妻の、自分がいなくなっても娘と夫が食べていけるように贅節の削り方から味噌汁や料理の大切さを伝えることが愛のメッセージとなった。



## 綾戸智恵 (ジャズシンガー)

父からどう生きるを伝授された千恵、今度は娘にみそ汁を伝授し生きるを伝え家族をつないだ。誰もが生まれ死ぬ事を受容れた力何処から? 見て頂戴この映画! それにしても夫君、ええ出汁出てる。

### わたしのみそ汁

画にもあったけど野菜のヘタも海老の頭も何でも入れます、一年分全て。これがホンマンのOh!味噌か。

## 飯田圭織 (タレント)

はなちゃんが愛情たっぷりのおみそ汁を作る姿に感動しました。私も一児の母として子供に何を伝えられるか、どういう母親でありたいかを改めて考えさせられる映画です。

### わたしのみそ汁

母の作るおみそ汁が大好きです。体に良いものを食べて健康でいることの大切さを教わりました。現在、私も子供に食の大切さを教えています。

## タカコナカムラ (一般社団法人ホールフード協会 代表理事/料理家)

千恵さんは、本当は「食べること」を通じて、人とつながりの大切さを伝えたいのではないのでしょうか。

### わたしのみそ汁

好きな具は豆腐とネギ。理由は美味しい出汁と味噌の味をダイレクトに感じるために最後に入れるだけの豆腐や葱が良いから。

## 志茂田景樹 (作家、よひ子に読み聞かせ隊隊長)

泣いているのに笑っている。この明るさは何だろう。鑑賞後、背中を叩かれていることに気づいた。つまり、見逃してはいけない映画なのだ。

### わたしのみそ汁

味噌汁はよく作る。カツオだして、具はワカメ、油揚げ、ネギ。油揚げを巻、ネギをふくらした下仁丹ネギなら至福の味になる。米酢を1滴垂らすと気づかれず味が和む。

## 浜野謙太 (俳優、ミュージシャン)

二児の父である身でも、子供を持つってどういうことなのか、果たして謎なんです。この映画を見たらなんとなく分かった気がします。遺すということ。

西日の差すおうち、東の間のうたた寝。淋しくも幸せなあのシーンは僕の心に温かく通りました。素敵なおみそ汁ありがとうございます。

## 魚戸おさむ (漫画家)

「私たちは食べた物で生きている」...普段そんな事を忘れがちに暮らしていませんか? 本当に大切な事ほど目に見え辛い気が付き辛い。そんな事を教えてくれる映画ですよ。

### わたしのみそ汁

「玉ねぎと卵のみそ汁」妻が作ってくれますが、玉ねぎの甘さと軽く溶いた卵と味噌のコーボがたまりません! 実は亡き母が作ってくれたのと同じ味がするのです。

## コウケンテツ (料理研究家)

最も辛く、悲しい気持ち...と同時に最もHAPPYであたたか気持ちにさせてくれる、そんな素敵な映画です。

## 本道佳子 (NPO法人・国境なき料理団 代表理事)

あきらめない人生。その先にある未来は、ツイている。さあ!! 早くうちに帰っておみそ汁つくろ〜。

### わたしのみそ汁

切り干し大根でとった出汁で作った、さつまいもと寒天とミョウガ入りのお味噌汁。お味噌汁は、ほっこり甘い味付けが好きです。ピリッとしたジャパニーズハーブのミョウガがアクセントになって、体に染み入ります。

## 藤井隆 (タレント)

はなちゃんが手をのばしてかつお節をつまみ食いたり野菜をつまんだり葉っぱを摘む姿がとても愛しかった。安武さんはなちゃん これからも手をのばしていっぱい楽しいことをつかんでほしいな。

### わたしのみそ汁

素麺とおなす 子供の頃はこの組み合わせにピンときませんでしたが、相性の良さに気づいてからは大好物です。みょうがやしょうが おねぎの薬味は季節に合わせてもらいます。

## 藤本智子 (ミソガール)

「当たり前」に感謝すること。安武さん、千恵さん、はなちゃん、大切なことに気付かせてくれてありがとうございます。おみそ汁がきつと日本の未来を明るくしてくれますね。

### わたしのみそ汁

私はおみそ汁が大好きで普通の人の10倍くらいはみそを食べています。さまざまな種類をいただきますが、中でも一番好きなのが母の故郷、九州の甘い麦みそと、キリッとした米みその合わせ。具材は気分によっていろいろ、薬味のねぎとゆずは必需品!

## 香川芳子 (女子栄養大学 学長)

食事時の味噌汁は大切です。ほっとしますね。親から子へ、その作り方や味が受け継がれていくことはとてもうれしいことです。本作品ではその想いが強く伝わりました。

### わたしのみそ汁

大根や豆腐、何気なく、あるもので作ったお味噌汁が好きです。

## 鎌田實 (医師・作家)

「生きているって、すばらしい!」って思わせてくれる映画。お母さんが命をかけて子どもを産み、育てる。すごい。不覚にも涙! 感動した。



(敬称略・順不同)

## 広末涼子×滝藤賢一×赤松えみな×青空、豪華キャストの幸せなアンサンブル 大切な家族へ、愛する人へ伝えたい、いのちのメッセージ

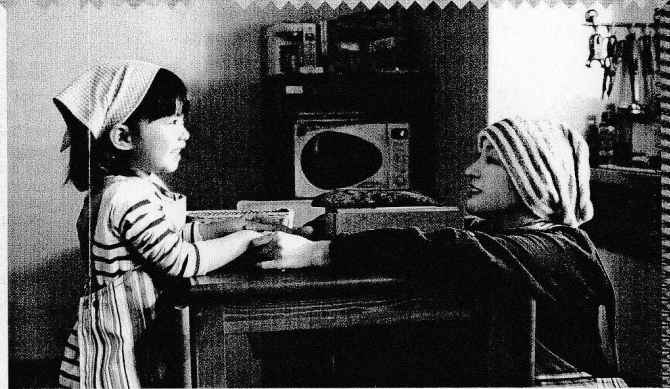


33歳でがんでこの世を去った千恵が1歳の娘と夫、家族との日々をつづった実話エッセイ「はなちゃんのみそ汁」。2012年に発売されるやいなや、書籍化やテレビドラマ化、教科書への採用など社会現象を巻き起こし、このたびいに映画化。

乳がんを克服した千恵と信吾は治療の影響で子供をあきらめていたが、奇跡的に妊娠し、はなを産出。幸せな日々は長くは続かず、千恵は再び病魔に襲われ残り少ない命を覚悟する。自分がいなくなってもはなが元気に暮らしていけるようにと、千恵は贅節を削って作るみそ汁など料理や家事の大切さを教えるはじめる。彼女たちのおいしくてあったかい、かけがえのない日々が続いていく...

結婚、妊娠、出産と人生の転機を病と闘いながら生き抜いた千恵を演じるのは、広末涼子。明るくひたむきに支える夫・信吾を滝藤賢一。はなは1,000人超の応募者から選ばれた演技経験ゼロの新星・赤松えみなが演じる。また千恵の姉役を一青窈が務め、この映画のために生み出した主題歌「満点星」を歌いあげている。監督を本作が長篇作品初となる阿久根知昭が脚本とともに担当。豪華メンバーによる幸せなアンサンブルが実現した。

「私はツイていた」と前向きに生きる千恵たちの姿が、この冬日本をあたたかい涙で包みこむ。



## SNSキャンペーン

映画公式サイトでは、みなさまからの感想、そして「みそ汁」のおすすめの具や、まつわる思い出を募集しております。投稿頂いた方にはプレゼントを贈呈! 詳細はぜひ映画公式サイトにてご確認ください。

- 映画 『はなちゃんのみそ汁』 感想投稿キャンペーン
  - 『はなちゃんのみそ汁』 投稿キャンペーン
- 詳細は [hanamiso.com](http://hanamiso.com) へ

